

業務用油だき可搬形ヒータ熱風式直火形

# ホットガン HOTGUN MAXDIII

ホットガンマックスデースリー

## 取扱説明書



- お使いになる前に、必ずこの取扱説明書をよく読んで、製品を正しくお使いください。
- 取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見ることができる場所に大切に保管してください。



## もくじ

まえがき	2	5. 保管方法	12
1. 特に注意していただきたいこと	4	6. 故障・異常時の処置方法	13
2. 各部のなまえ	7	7. 仕様	13
3. 使用方法	8	8. 安全ラベルの一覧	14
3-1. 運転準備	8	9. アフターサービス	14
3-2. 運転操作方法	9	10. 別売部品について	15
4. 点検方法	11		
4-1. 日常の点検と手入れ	11	巻末：保証書・お客様相談窓口	
4-2. 定期点検	12		

この度はシズオカのホットガンMAXDⅢをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

## まえがき

◎ この取扱説明書には、この製品を安全に、正しくお使いいただくため、必ずお守りいただきたい注意事項が表示されています。

その注意事項は  **危険**、  **警告**、  **注意** に区分されています。

表示内容をよくご理解いただき本文をお読みください。



**危険**

この表示を無視して、誤った「取扱い」をすると、人が死亡、重傷を負う危険、又は火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を表示しています。




**警告**

この表示を無視して、誤った「取扱い」をすると、人が死亡、重傷を負う危険、又は火災の可能性が想定される内容を表示しています。






**注意**

この表示を無視して、誤った「取扱い」をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を表示しています。

※ 「 注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

◎ 文章の横にあるマークは次のように表しています。

	<b>禁止</b> (このマークは、禁止の行為であることを表します。)
	<b>強制</b> (このマークは、行為を強制したり指示したりする内容を表します。)
	<b>注意</b> (このマークは、注意を促す内容があることを表します。)



## 重要なお知らせ

---



### 警告

- この機械は物の加温，乾燥を目的とした業務用ヒーターです。
- この製品は家庭用として使わないでください。火力が強いため，密閉した場所で使用すると火災，一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- この製品の操作および点検・手入れを行うときは，必ずこの取扱説明書に従ってください。
- 部品を交換される場合には，必ず静岡製機(株)の純正部品をお使いください。純正部品以外のものを使用したことにより発生した損害・事故につきましては弊社は責任を負いかねますので，あらかじめご了承ください。
- この取扱説明書に従わなかったり，誤用や改造が行われたことにより発生した損害・事故につきましては弊社は責任を負いかねますので，あらかじめご了承ください。



### 注意

- 本製品は「裸火」に該当します。不特定多数の人が出入りする場所で使用するときは，消防署の許可を取ってお使いください。
    - ・ 百貨店の売り場，顧客の出入りする場所
    - ・ 劇場，公会堂，集会場の舞台，客席(上記以外は使用地域の消防署にお問い合わせください)
1. 近年，産業機械には，新しい加工方法の採用により，さまざまな危険が数多く発生する傾向にあります。この製品の取扱上の危険についても，すべての状況を予測することはできません。そのため，この取扱説明書の記載事項や製品に表示してある注意事項は，すべての危険を想定しているわけではありません。従って，製品の操作または日常点検を行う場合は，この取扱説明書の記載および製品本体に表示されている事項に限らず，安全対策に関しては十分な配慮が必要です。
  2. この取扱説明書について，質問やより詳しい情報が必要な場合は，お買い上げの販売店(以下販売店という)または，最寄りの弊社営業所(巻末に記載)にお問い合わせください。
  3. この取扱説明書において，万一，ページの「乱丁」や「落丁」などがあった場合は，お取り替えいたします。お手数ですが，販売店までご連絡ください。
  4. この取扱説明書は，大切に保管してください。



## この取扱説明書の目的と構成について





---








この取扱説明書の目的は，業務用油だき可搬形ヒーターHOTGUN MAXDIII (ホットガンマックスデスリー) について，製品の正しい操作および点検・手入れの方法を知っていただくために詳しい情報を提供することです。

# 1 特に注意していただきたいこと

安全のため、必ずお守りください。

\* 下記の項目は、この製品をお使いいただく上での重要な安全事項が書かれています。ご使用前に必ずお読みください。

 <b>危険</b>			
1	<b>ガソリン厳禁</b>	ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。	
2	<b>可燃性ガスの発生する場所での使用厳禁</b>	可燃性のガスを発生するもの(シンナー、ガソリン、LPGなど)を使っている場所や置いてある場所では、本製品を絶対に使用しないでください。引火して爆発し、火災、やけどをするおそれがあります。	
3	<b>換気必要</b>	換気を十分に行えない場所では使用しないでください。換気せずに使用し続けしないでください。酸素が不足すると、不完全燃焼し、一酸化炭素などが発生し、中毒になるおそれがあります。使用中は必ず換気をして新鮮な空気を補給してください。	

 <b>警告</b>			
1	<b>スプレー缶厳禁</b>	スプレー缶など密閉容器を加熱したり、熱の当たるところに置かないでください。熱でスプレー缶などの圧力が上がり、爆発し、ケガをすることがあります。	
2	<b>可燃性粉じん厳禁</b>	可燃性粉じん(木くず、紙くず、繊維くずなど)が発生する場所では使用しないでください。製品内に吸い込まれると加熱され火の粉になって吹き出されるので火災の原因になります。	
3	<b>高温部に注意</b>	燃焼中や、消火後約30分間は、高温部・吐出口周辺に手など触れないように注意してください。やけどします。	
4	<b>閉塞危険</b>	空気取入口や熱風吹出口をふさがないでください。ふさぐと、異常燃焼や、火災の原因になります。	
5	<b>改造使用の禁止</b>	改造して使用しないでください。故障・火災等の原因になり危険です。	
6	<b>感電注意</b>	感電するおそれがあります。雨水、雪などのかかる場所や湿度の高い処では使用しないでください。日常の点検、手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。	

安全のため、必ずお守りください。

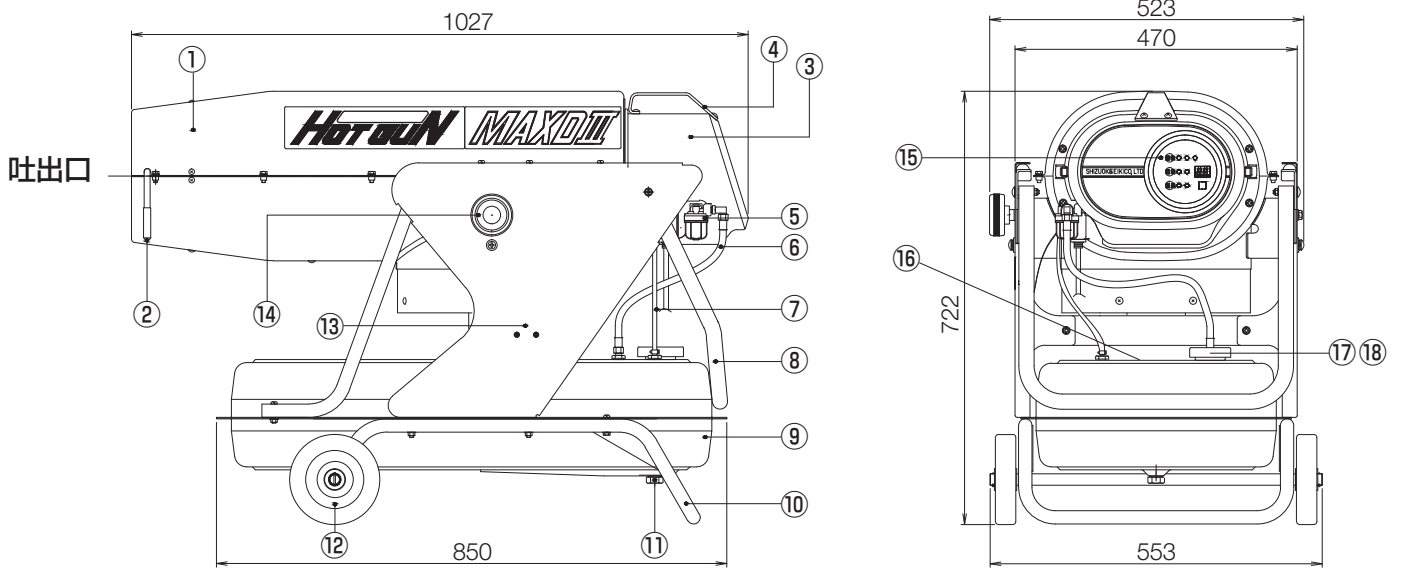
 <b>注意</b>			
1	<b>可燃物からの距離確保</b>	可燃物は、吐出口の前方から2.5m以上、左右側方、後方及び上方から2m以上離してください。火災の原因になります。	
2	<b>遮へい物不可</b>	吐出口前方1m以内には遮へい物を置かないでください。異常燃焼や火災の原因になります。	
3	<b>点火操作の繰り返し禁止</b>	点火操作を3回繰り返しても着火しない場合は、それ以上点火操作を繰り返さないでください。火災の原因になります。使用を中止し販売店に連絡してください。	
4	<b>床面高温注意</b>	製品を使用するときは、床面が高温にならないように注意してください。火災の原因になります。	
5	<b>水分のかかる場所での使用禁止、およびぬれた手での操作禁止</b>	雨水、雪などのかかる場所では使用しないでください。また、ぬれた手で操作しないでください。感電するおそれがあります。	
6	<b>標高の高いところでの使用禁止</b>	標高1000m以上の場所で使用する場合は調整が必要です。調整は販売店に相談してください。そのまま使用すると、異常燃焼や火災の原因になります。	
7	<b>異常時使用禁止</b>	におい、煙の発生など異常燃焼を起こしたときは、直ちに使用を中止し、販売店に連絡してください。そのまま使用すると火災の原因になります。	
8	<b>燃焼中移動禁止</b>	製品を火の付いたままで移動しないでください。やけどのおそれがあります。また、転倒すると火災の原因になります。	
9	<b>ダクト接続禁止</b>	製品の吐出口に直接ダクトなどを接続しないでください。異常燃焼や火災の原因になります。	
10	<b>給油時消火</b>	給油は必ず消火してから行ってください。火災の原因になります。	
11	<b>電圧注意</b>	電源は単相交流100V(90~110V以内)で使用してください。火災・感電・故障の原因になります。	
12	<b>アースコード未接続での使用禁止</b>	アースコードを接続してください。接続しないで使用すると感電のおそれがあります。	
13	<b>電源プラグ引き抜き注意</b>	電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って行ってください。電源プラグが損傷し、感電やショートして発火することがあります。	

## 安全のため、必ずお守りください。

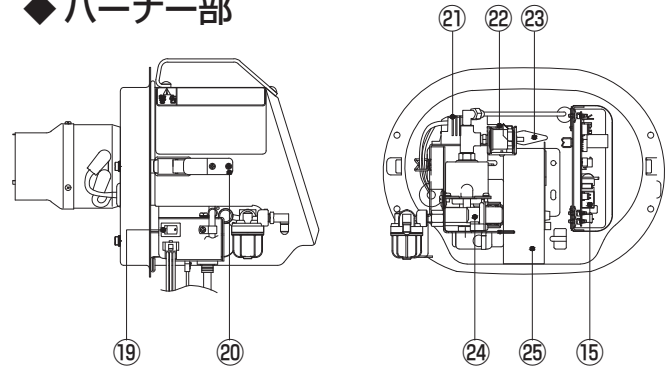
### 注意

14	<b>電源コード 破損注意</b>	電源コードは、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、挟み込んだり、加工しないでください。また、重いものを載せるなど破損の原因となることは避けてください。火災・感電の原因になります。	
15	<b>軍手着用</b>	吐出口内を掃除する時は、軍手をはめて行ってください。手を切るおそれがあります。	
16	<b>点火操作後、 吐出口接近禁止</b>	点火操作をした後、吐出口内をのぞき込んだりしないでください。やけどします。	
17	<b>消火の確認</b>	消火操作をしたときは、火が完全に消えていることを確認してから離れてください。	
18	<b>廃棄時の不法投棄 禁止</b>	製品を廃棄する時は、必ず専門業者に依頼してください。絶対に不法投棄はしないでください。	
19	<b>ヒータ使用場所の 制限（次の処では 使用しない）</b>	災害・傷害等を未然に防止するために、次のような場所では使用しないでください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 使用床面が振動する場所。</li> <li>● 使用床面が傾斜している場所（水平でないところ）</li> <li>● 階段、非常口（避難口）、部屋の出入口等。</li> <li>● 周囲に不安定な積荷のある場所。</li> <li>● 風の強い処や、湿気が多い場所、ほこり・金属粉の浮遊している場所。</li> <li>● その他、人の移動に障害となる場所等。</li> </ul>	
20	<b>使用時の周囲 温度に注意</b>	製品を使用するときは、 $-20^{\circ}\text{C}$ ～ $40^{\circ}\text{C}$ の周囲温度でお使いください。特に、周囲温度が $40^{\circ}\text{C}$ 以上になりますと製品が過熱され、火災の原因になります。	
21	<b>譲渡時の「取説」 添付の励行</b>	製品を譲渡する時は、「取扱説明書」を必ず添付してください。	
22	<b>サーモスタット 感温部設置場所 注意</b>	サーモスタットを取り付けた場合、サーモスタットの温度感知部は温風が直接当たる所に置かないでください。頻繁にON(燃焼)/OFF(消火)を繰り返す、故障の原因になります。	
23	<b>無人運転時の注意</b>	サーモスタット・タイマーを取り付けた場合、無人状態でも自動的に着火します。吐出口前方の可燃物や遮へい物など周囲に燃えやすい物がないか確認してください。火災の原因になります。	
24	<b>別売部品取付時の 注意</b>	別売部品を取り付ける時は、電源プラグを外して行ってください。工具などの金属部が電装部品に触れますと、感電、破損のおそれがあります。	
25	<b>移動時の注意</b>	本体を移動させるときは、必ずハンドルを持って移動を行ってください。ハンドル以外の場所を持って移動する場合、怪我をするおそれがあります。	
26	<b>輸送時の注意</b>	燃料を入れたまま輸送しないでください。転倒や振動により油タンク内の燃料が漏れて火災の原因になります。	

## 2 各部のなまえ



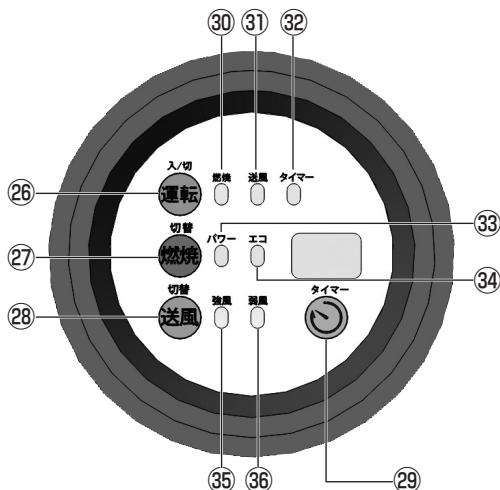
### ◆ バーナー部



- ① 外筒
- ② 吐出口レバー
- ③ バーナーカバー
- ④ バーナーカバー取手
- ⑤ 油ストレーナー
- ⑥ 送油ホース
- ⑦ 戻りホース
- ⑧ 折り畳み式ハンドル
- ⑨ 油タンク
- ⑩ 車輪受
- ⑪ ドレンボルト
- ⑫ 車輪
- ⑬ 感震器 (背面)
- ⑭ ノブボルト
- ⑮ バーナーコントローラー
- ⑯ 油量計

- ⑰ 給油口
- ⑱ 給油口ストレーナー
- ⑲ 燃料スイッチ
- ⑳ パッチン錠
- ㉑ 点火トランス
- ㉒ 電磁弁
- ㉓ フレームアイ
- ㉔ 電磁ポンプ
- ㉕ 燃焼ファン

### ◆ スイッチ部



- ⑳ 運転スイッチ……点火、消火に使用します
- ㉑ 燃焼スイッチ……燃焼量の切り替えに使用します
- ㉒ 送風スイッチ……送風量の変更、送風運転に使用します
- ㉓ タイマースイッチ……タイマー運転に使用します
- ㉔ 燃焼ランプ……燃焼運転中は点灯し、冷却時には点滅します。
- ㉕ 送風ランプ……送風運転中に点灯します。
- ㉖ タイマーランプ…タイマー運転中に点灯します
- ㉗ パワーランプ……燃焼量が強のときに点灯します
- ㉘ エコランプ……燃焼量が弱のときに点灯します
- ㉙ 強風……送風量が強のときに点灯します
- ㉚ 弱風……送風量が弱のときに点灯します

## ★ エラーコードと処置方法

ヒータの異常発生時には、ランプが点灯し、表示部にエラーコードを表示します。  
エラーコードの内容は、下記表の通りです。

表示内容	エラー内容	エラー内容の説明と処置方法	処置方法
A1	失火	点火ミスや燃焼中に失火したときに、自動的に消火します。 点火前にフレームアイの異常を検出したときに、運転を停止します。 作動状態：タイマー以外の全てのランプの点滅と表示部に A1 の表示がされ、燃焼作動中のときは 5 分間の燃焼ファン・送風ファンによる冷却（以下、ポストバージ）を行います。	13 ページの故障・異常時の処置方法の項目に従って異常原因を取り除き、電源を再投入してください。処置後も繰り返し発生する場合は、製品の異常が考えられ危険ですので、販売店に連絡してください。
A3	加熱	製品が異常に過熱したときに、自動的に消火します。 作動状態：タイマー以外の全てのランプの点滅と表示部に A3 の表示がされ、燃焼作動中のときは 5 分間のポストバージを行います。	送風ファン下部の吸気口に異物が無いか確認してください。繰り返し発生する場合は、製品の異常が考えられ危険ですので、販売店に連絡してください。
A4	耐震	運転中に振動や衝撃を受けたときに、自動的に消火します。 作動状態：タイマー以外の全てのランプの点滅と表示部に A4 の表示がされ、燃焼作動中のときは 5 分間のポストバージを行います。	振動や衝撃による本体の損傷が無いか確認後、周囲の安全を確認し電源を再投入してください。
A5	ファン回転異常	運転中に燃焼ファンの動作に異常が生じたときに、自動的に消火します。 作動状態：タイマー以外の全てのランプの点滅と表示部に A5 の表示がされ、燃焼作動中のときは 5 分間のポストバージを行います。	製品の異常が考えられ危険ですので、販売店に連絡してください。
HU	異常高電圧検知	電圧の異常に高い電源に、電源プラグを差し込んだときに運転を禁止します。 作動状態：タイマー以外の全てのランプの点滅と表示部に HU の表示がされ、運転動作できません。	正常な電源に接続し、電源を再投入してください。
LU	電圧低下検知	運転中に電源電圧が約 90V を下回ったときに、警報を発します。 （条件により若干変動することがあります。） 作動状態：表示部に LU の表示がされますが、運転は継続します。	
A6	低電圧停止	運転中に電源電圧が約 70V を下回ったときに、動作を停止します。 （条件により若干変動することがあります。） 作動状態：タイマー以外の全てのランプの点滅と表示部に A6 の表示がされ、燃焼作動中のときは 5 分間のポストバージを行います。	
A7	連続着火ミス検知	3 回連続で着火できなかったときに、自動的に点火操作を禁止します。 作動状態：タイマー以外の全てのランプの点滅と表示部に A7 の表示がされ、運転動作できません。	製品の異常が考えられ危険ですので、販売店に連絡してください。
A8	燃料スイッチ OFF	燃焼異常時、もしくは運転スイッチ操作で消火できないとき、燃料スイッチを OFF にすることで強制的に燃料の供給を停止します。 作動状態：表示部に A8 の表示がされ、運転動作しません。燃焼作動中のときにスイッチを OFF にすると 5 分間のポストバージを行います。	燃焼異常の原因を取り除いてからスイッチを ON にしてください。

## 3 使用方法

### 3-1. 運転準備



**危険**

- ガソリンなどの揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。



**注意**

- 給油は、必ず消火してから行ってください。火災の原因になります。
- 電源は、単相交流 100V (90~110V) を使用してください。間違った電源を使用すると、火災、感電、故障の原因になります。
- アースコードを接続してください。接続していないまま使用すると感電のおそれがあります。
- 電源プラグを抜く時は、必ずプラグを持って行ってください。電源コードは、無理に曲げたり、引っ張らないでください。電源コードが破損し、火災、感電の原因になります。

### ★ 給油 お願い

- 給油口ストレーナーにゴミが付いていないか点検してください。ゴミが付いたら給油口ストレーナーを取り出して、灯油で洗ってください。この時に使った灯油は、油タンク内にもどさないでください。故障の原因になります。
- 必ず灯油 (JIS 1号灯油) を使用してください。変質灯油、不純灯油などは絶対に使用しないでください。故障の原因になります。



1 給油口ふたを外して、給油ポンプを差し込んでください。

2 油量計を見ながら、灯油を給油してください。油量計の目盛が、最大目盛に近くなったら、給油を停止してください。

3 給油口ふたを、確実に締め、こぼれた灯油はウェスなどでふき取ってください。

注) 燃料スイッチは燃料の供給を制御するためのスイッチです。「ON」の状態では燃料が供給されます。燃焼異常が発生した場合は、スイッチを「OFF」にして燃料の供給を停止してください。(通常時は「ON」のままです)

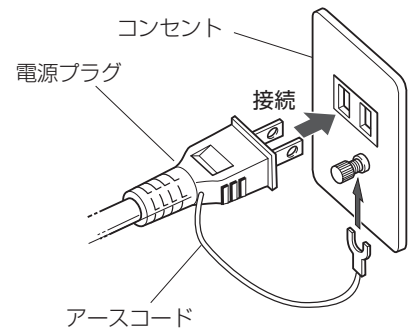
### ★ 電源の接続と燃料スイッチの確認

1 操作部左側側面の燃料スイッチが「ON」になっていることを確認し、電源プラグをコンセントに接続してください。



燃料スイッチ

2 アースコードを接続してください。



## 3-2. 運転操作方法 .....



- におい、煙の発生など異常な燃焼を起こした時は、直に使用を中止し販売店に連絡してください。そのまま使用すると火災の原因になります。
- 点火操作を3回繰り返しても着火しない場合は、それ以上点火操作を繰り返さないでください。火災の原因になります。使用を中止し販売店に連絡してください。
- 製品を使用する時は、床面が高温にならないように注意してください。火災の原因になります。
- 油タンク内が汚れたまま運転をしないでください。着火不良や異常な燃焼を起こす原因になります。

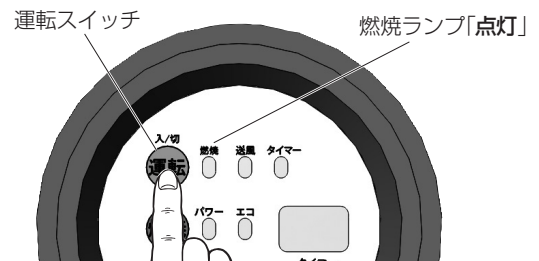
### ★ 点火操作

#### お願い

- 着火の確認をするまで、離れないでください。火が付いていない可能性があります。

1 油量計で燃料が入っていることを確認してください。

2 運転スイッチを1回押してください。燃焼ランプが点灯し約10秒後に着火します。パワー、エコ、強風、弱風のランプも状態に合わせて点灯します。

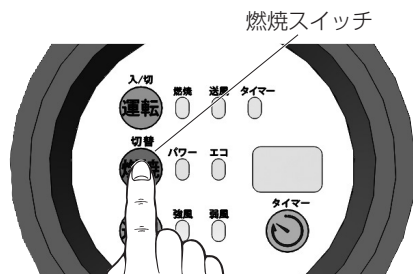


#### 着火しなかった場合の再度の点火操作

もう一度運転スイッチを押して動作を停止させ、再度運転スイッチを押してください。

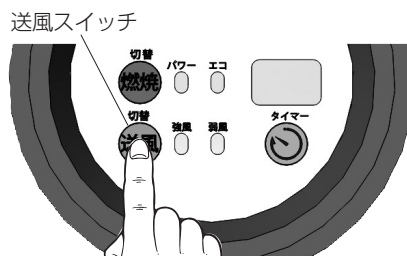
### 燃焼量を調整する場合

燃焼スイッチを押すことにより「パワー」（強燃焼）と「エコ」（弱燃焼）が切り替わります。



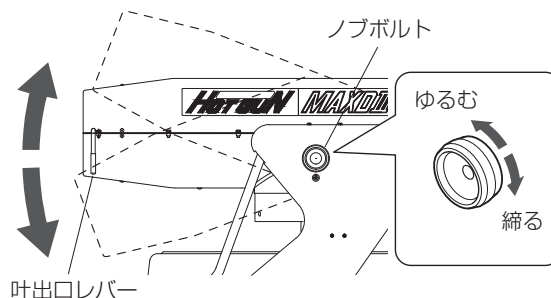
### 送風量を調整する場合

送風スイッチを押すことにより「強風」と「弱風」が切り替わります。



### 温風角度を調整する場合

本体が停止した状態でノブボルトを緩めて本体を動かし、角度を決めたらノブボルトをしっかり締めて固定してください。または、吐出口レバーを動かして角度を固定してください。  
吐出角度は、本体・吐出口により上下40度まで変えることができます。



### 切タイマー設定

燃焼運転中にタイマー設定を行うことにより、設定時間経過後に運転を停止することができます。（操作部の説明はP. 7 をご参照ください。）  
タイマーボタンを押すと、タイマーボタンを押す毎に、下記のように表示内容が順次変化します。



\*表示される内容は、1Hは1時間、2Hは2時間、4Hは4時間、8Hは8時間、[ ]は連続運転を意味します。

表示部にご希望の時間または[ ]を点滅表示させ、5秒以上タイマースイッチを放置しますと表示部が点灯表示になり、タイマー運転を開始します。  
タイマー運転中、表示部はカウントダウン表示をし、「00」になったときに運転を停止します。  
\*切タイマー残時間が1時間以上の時は1時間単位（1H、2H...）と表示し、1時間未満の時は1分単位で表示します。

### 送風操作

運転待機状態で送風スイッチを押すと燃焼せずに送風だけ行う送風モード（強）に移行します。  
送風モード（強）中に送風スイッチを押すと送風モード（弱）に移行し、もう一度押すと送風モードを停止し運転待機状態に戻ります。

### 消火操作



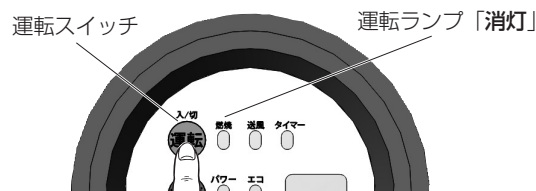
### 注意

- 消火操作をしたときは、火が完全に消えていることを確認してから離れてください。

### お願い

電源プラグをコンセントから抜くときは、送風ファンが停止したことを確認してください。  
送風ファンが停止せずに、電源プラグを抜くと、故障の原因になる可能性があります。

燃焼中に運手スイッチを押すと停止に移行します。  
燃焼中に動作を停止すると燃焼LEDが点滅し、約5分間ポストバージを行います。



# 4 点検方法



## 注意

- 点検・手入れをするときは、必ず消火し、電源プラグを抜いてから行ってください。感電のおそれがあります。
- 吐出口内を掃除する時は、軍手をはめて行ってください。手を切るおそれがあります。感震器の作動点検は、吐出口部分を持って、行わないでください。やけどします。

## お願い

給油口ストレーナーの洗浄に使った灯油を油タンクに入れたり、油タンク内の点検時に取り出した汚れた灯油を油タンクに戻さないでください。故障の原因になります。

## 4-1. 日常の点検と手入れ .....

### ★ 給油口オイルストレーナー汚れ点検

- 1 給油口ふたを外し、給油口にはめられている給油口ストレーナーにゴミがついていないか点検してください。
- 2 給油口ストレーナーにゴミがついていたら、給油口ストレーナーを取り出して灯油で洗ってください。

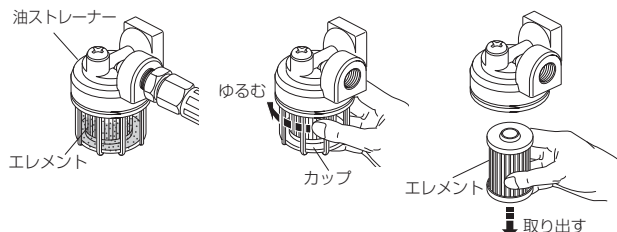
- 3 給油口ストレーナーを給油口にはめ込み、給油口ふたを確実に締めてください。



### ★ エレメントの点検と油タンクの水抜き

#### エレメントの点検

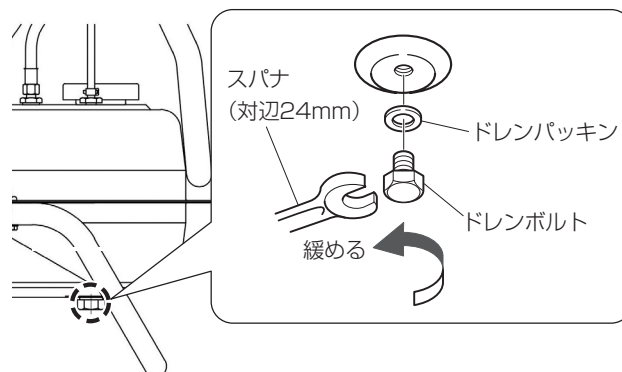
- 1 エレメントの汚れを点検してください。
- 2 エレメントが汚れている場合は、新品と交換してください。



#### 油タンクの水抜き

- 1 給油口ふたを外し、給油口ストレーナーを外して、給油ポンプを差し込んでください。
- 2 給油ポンプが油を吸い込まなくなるまで、灯油を抜き取ってください。
- 3 給油口ストレーナーをはめ、給油口ふたを確実に締めてください。
- 4 給油ポンプで取りきれなかった灯油または水の混じった灯油を排出しますので、約3ℓ分の空容器を用意し、ドレンボルトの下に置いてください。
- 5 次に、ドレンボルトをスパナなどで外し、油タンクをドレン側に傾けて、完全に排出してください。(この時、ドレンパッキンをなくさないように注意してください。)

- 6 ドレンボルトにドレンパッキンを入れ、パッキンが密着し、油漏れがないように確実に締めてください。
- 7 油タンクに付いた灯油や水は、ウエスなどでふき取ってください。

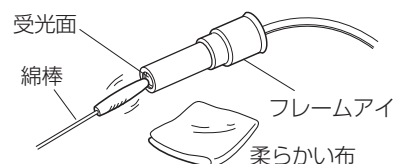
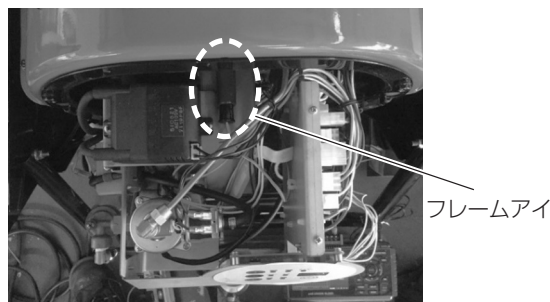


## ★ フレームアイの点検・掃除

### お願い

フレームアイを引き出すときは、フレームアイ本体を持って行ってください。

- 1 バーナーカバーを外し、フレームアイを引き出して受光面の汚れを点検してください。
- 2 受光面が汚れている場合は、柔らかい布等で、透明になるまで拭いてください。
- 3 フレームアイをはめ込み、バーナーカバーを確実に取り付けてください。



## ★ 感震器の作動点検

- 1 燃焼している製品のハンドルを持ち、上下または左右に揺すってください。
- 2 感震器が作動して、自動的に消火するか確認してください。
- 3 作動しない場合は、消火後、販売店に連絡してください。

## ★ 本体の汚れ点検

- 1 製品本体周りにゴミやほこりがたまっていないか、点検してください。
- 2 ほこりがたまっている場合は、掃除機で吸い取るか、ウエス等で拭き取ってください。

## 4-2. 定期点検 .....

長時間で使用になりますと、機器の点検が必要です。

2シーズンに1回程度、シーズン終了後などにお買い求めの販売店、またはサービス店に点検依頼してください。

# 5 保管方法



### 注意

- 保管する時、または長期間使用しない時、必ず油タンクを空にしてください。油が漏れて火災の原因になります。また、灯油が変質し、故障の原因となります。

保管される場合には、電源プラグをコンセントから抜き、屋内の湿気の少ない場所に保管してください。

# 6 故障・異常時の処置方法

## ★ 修理サービスを依頼される前に、下記の点検をお願いします。

下記の項目以外、または処置方法に従って処置しても直らない場合は、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社営業所(巻末参照)へお知らせください。その際に、症状の他、製品の型式名、製造番号をお知らせください。  
製造番号は、バーナーカバーに貼付してある「仕様ラベル」に記してあります。

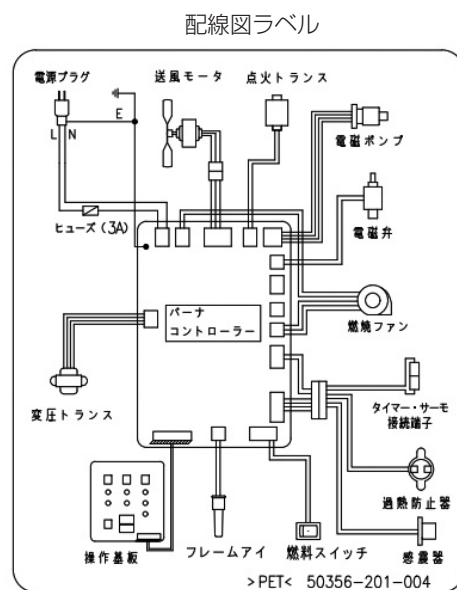
症 状	考えられる原因	処 置 方 法
全く動かない(表示も出ない)	電源が入っていない・停電している	電源を入れる
全く動かない(表示は出る)	安全装置が作動している	安全装置を確認してください(P.8参照)
	サーモ・タイマー動作中である	サーモ・タイマーを確認してください
着火しない	油タンクに灯油がない	給油してください (P.8参照)
	油タンクに水が入っている	油タンクを掃除して、きれいな灯油を入れてください (P.11参照)
	エレメントが詰まっている	エレメントの点検と交換をしてください (P.11参照)
途中失火する	安全装置が作動している	安全装置を確認してください(P.8参照)
	燃料が不良である	油タンクを掃除して、きれいな灯油を入れてください (P.11参照)
	フレームアイが汚れている	フレームアイを掃除してください(P.12参照)
	エレメントが詰まっている	エレメントの点検と交換をしてください (P.11参照)

次のような現象のときは異常ではありません。修理サービスをお申し付けになる前に、もう一度確認してください。

現 象	説 明
初めての使用のとき、煙やにおいが出る。	ほこりや油分などが焼けるためです。しばらくするとなくなります。
初めての使用のとき、本体から灯油が垂れる。	配管内の空気が抜けるまで着火しないため、ノズルから噴出された灯油が本体から垂れる場合があります。この場合は、灯油をウエスなどで拭き取ってから点火操作を行ってください。
点火時、および消火時に「ピチピチ」と音がする。	バーナー部の膨張収縮音です。異常ではありません。

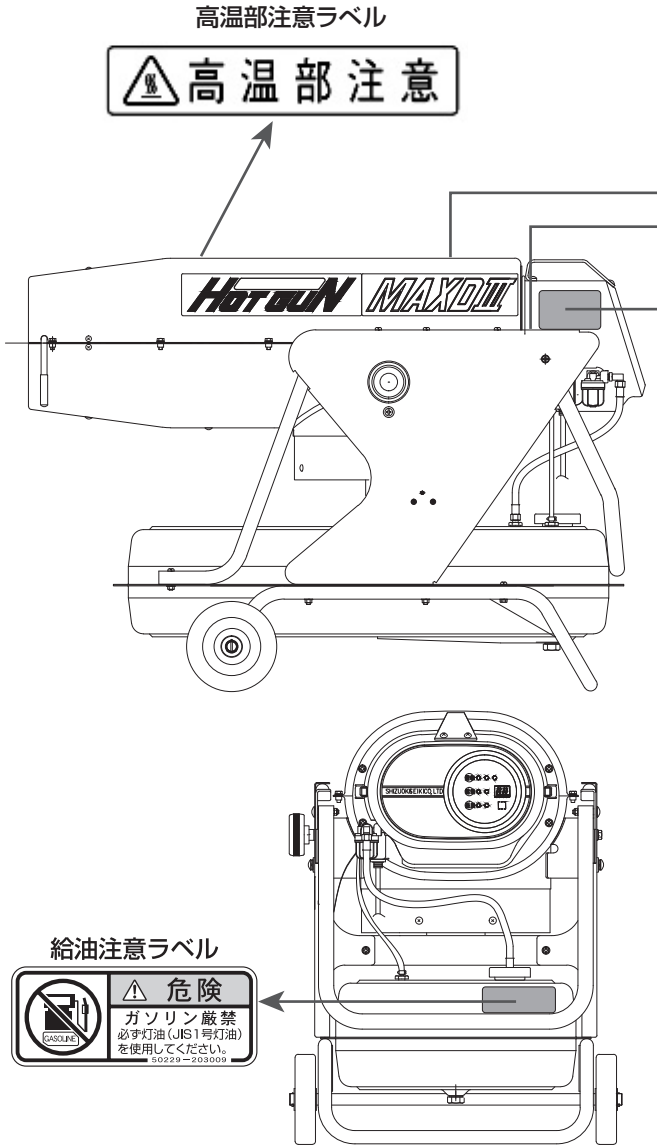
# 7 仕様

形 式	HG MAXDIII
種 類	熱風式・直火形
点 火 方 式	高圧放電点火
使 用 燃 料	灯油 (JIS 1号灯油)
燃 料 消 費 量	4.3/3.2 L / h [強/弱]
熱 出 力	42/31 kW [強/弱]
油 タ ン ク 容 量	45 L
燃 焼 持 続 時 間	10/14 h [強/弱]
外 形 寸 法 (m m )	高さ 722 × 幅 553 × 奥行 1027
質 量 (タンク空時)	51 kg
電 源 電 圧	AC100 V (50/60 Hz)
消 費 電 力	点火時: 141/152W 燃焼時: 125/130W [50/60Hz]
ヒ ュ ー ズ	ガラス管ヒューズ 3 A 250 V (φ6.35×ℓ30)
運 転 音	72 dB (A) [強]
安 全 装 置	対震自動消火・炎監視・過負荷保護・過熱防止・ 異常高電圧検知・電圧低下検知・ ファン回転異常検知・停電時安全



# 8 安全ラベルの一覧

安全ラベルは、製品を安全にお使いになるために重要なものです。はがしたり、汚したりしないでください。ラベルの文字が消えたり、読みにくくなった場合は、販売店に注文して貼りかえてください。



## 取扱注意ラベル

**ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。**

**警告**

1. 点火操作を3回繰り返しても着火しない場合は、それ以上操作できなくなります。燃料切れの場合は給油・電源再投入後に再点火操作をしてください。それ以外の場合は販売店に連絡してください。
2. スプレー缶などの密閉容器を加熱したり、熱の当たるところに置かないでください。
3. 可燃性粉塵（木くず、紙くず、繊維くずなど）が発生する場所では使用しないでください。
4. 空気取入口、排出口は塞がないでください。
5. 燃焼中や消火直後は放熱部、及び放熱部周囲は高温になっています。手など触れないでください。

**注意**

1. 吐出口前方の可燃物から2.5m以上、左右側方、後方及び上方の可燃物から2m以上離してください。
2. 雨水、雪などのかかる場所では使用しないでください。
3. ヒータを使用するときは床面が高温にならないように注意してください。
4. 点火操作をした後、吐出口内をのぞき込んだりしないでください。
5. 給油は必ず消火を確認してから行ってください。

**運転の手順**

点火は、運転スイッチ（入切）を1回押します。燃焼ランプが点灯後、数秒後に送風ファンが回転し点火します。  
 送風は、点火していない状態で、送風スイッチ（切替）を1回押すと強風ランプが点灯し送風します。  
 →「強風」送風中、弱風にする場合は、送風スイッチ（切替）をもう一度押します。  
 →送風停止する場合、「弱風」送風中、送風スイッチ（切替）をもう一度押します。  
 燃焼スイッチを「パワー」または「エコ」にすると燃焼量が切替わります。  
 送風スイッチを「強風」または「弱風」にすると送風量が切替わります。  
 消火は、点火中に運転スイッチ（入切）を1回押すと燃焼ランプが点滅し、火が消えます。そのまま5分後に送風が自動で停止し「燃焼」「送風」ランプが消えます。その際、「燃焼」「送風」ランプが消えれば消火済みです。  
 ・1回の点火操作で着火しない場合は、一度運転スイッチ（入切）を押して消火し、再度運転スイッチ（入切）を押して点火をしてください。  
 ・燃焼、送風運転中にタイマーボタンを押すと1, 2, 4, 8の時間からタイマー運転をすることが出来ます。

表示	内容	表示	内容	表示	内容
A1	失火	A6	低電圧停止	HU	異常高電圧
A3	過熱	A7	連続着火ミス3回	PP	ボストバージ
A4	感震器	A8	燃料スイッチOFF		
A5	ファン回転異常	LU	電圧低下		

>PET< 50356-202018

## 危険表示ラベル

**警告**

1. この機械は物の加温、乾燥を目的とした業務用ヒータです。
2. 家庭用として使わないでください。火力が強いので、火災、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

**警告** **危険** **危険**

日常点検・手入れ時は電源プラグをコンセントから抜いてください。

使用中は必ず換気して新鮮な空気を補給してください。

可燃性ガス及び引火性液体の使用及び保管場所での使用禁止。

**燃料スイッチ**

燃料の緊急遮断スイッチです。緊急時にはスイッチをOFFにして燃料の供給を遮断してください。

## 注意ラベル

**注意**  
指のはさみ込み注意

# 9 アフターサービス

- この製品には、1年間の無償修理保証書が付いておりますので、大切に保管してください。なお、保証期間内に修理を依頼される場合は、保証書を添えてください。
- 下記の場合は保証の対象となりませんのでご注意ください。

- (1) ノズル・エレメントなど消耗品
- (2) 誤使用による故障  
例) 電源200V使用による電気部品の焼損
- (3) 火災・浸水・落雷などの災害によるもの
- (4) 腐食性ガスの発生する場所で使用した場合の部品の腐食  
例) 畜舎などアンモニアガス等の発生する場所

- (5) その他、取扱説明書に記載してある以外の使い方による故障

- 無償修理期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は、有料修理致します。

販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。  
この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

- (1) この期間は経済産業省の指導によるものです。
- (2) 性能部品とは、その製品を維持するために必要な部品です。

# 10 別売部品について

本製品に取り付けることのできる別売部品は次のものです。

名 前	使 い 方		
サーモスタット	部屋などの空間を暖めて、設定温度に保ちたいときに使用します。 設定温度範囲によって、A・B・Cの3種類があります。		
	<b>A</b> $-10\sim 50^{\circ}\text{C}$ 	<b>B</b> $0\sim 100^{\circ}\text{C}$ 	<b>C</b> $40\sim 90^{\circ}\text{C}$ 
タイマー24時間	時間によって運転を行ったり、止めたりするときに使用します。24時間タイマーで15分刻みの設定ができます。		
オイルタンク95L	別置きでタンクを取り付けることができます。専用タンクでは、容量が足りないときに使います。 ※ 配管条件により、オイルレベラーが別途必要になります。		
収納カバー	ヒーターを保管するときにホコリなどを防ぐために使用します		

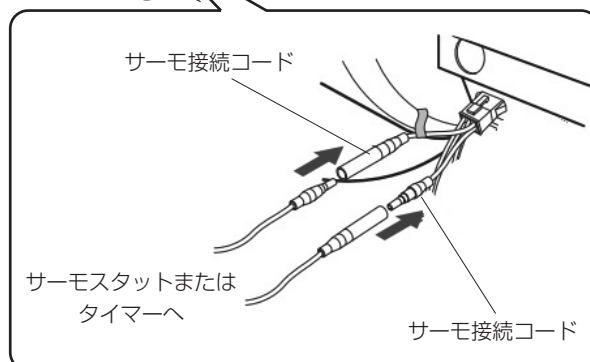
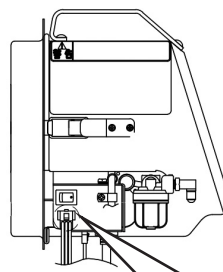


## 注意

- 別売部品を取り付けるときは、電源プラグを外して行ってください。工具などの金属部分が電装部品に触れますと、感電・破損のおそれがあります。

## サーモスタット・タイマーの取付方法

- 1 バーナ部側面のサーモ・タイマー接続の端子を外します。
- 2 オス・メス各コネクタにサーモスタットまたはタイマーのコネクタを接続してください。  
サーモスタットとタイマーを同時にお使いになる場合には、直列になるように接続してください。



# 製品保証書 [保証期間 1年]

型式：HG MAXDⅢ	製造番号：—
お客様記入欄	販売店様記入欄
お名前	販売店様名称 印
ご連絡先	
ご購入日	販売店様連絡先

弊社は、上記の製品単体について、下記の通り保証いたします。

- |  |   |
|--|---|
| (1) 保証期間中に、正常な使用状態において生じた、製造上の責任による故障又は損傷につきましては、無償修理をいたします。 | (3) 下記の場合は保証の対象となりませんのでご注意ください。   |
| 尚、無償修理において交換された旧部品は弊社の所有物となり、弊社が任意に処分できるものとしますのをご了承ください。     | (イ) 保証書の提示がない場合   |
| (2) 次の場合は、保証期間中でも「有償修理」といたします。                               | (ロ) 製品の性能等が、弊社規格内である場合  |
| (イ) 取扱説明書に記載してある以外の使い方、誤った使用、過失及び整備、保管の不備により生じたと認められる故障等     | (ハ) 弊社製品の使用又は使用できなかったことによる二次的損害(逸失利益の損害、事業の機会の損失、その他金銭的損害等)                 |
| (ロ) 納入後の転倒、衝撃、及び改造や純正以外のオプション、部品の使用が原因で生じたと認められる故障等          | (4) この保証書は、お買上げ時の領収書などの購入履歴のわかるものと併せて保管してください。                              |
| (ハ) 火災、地震、台風、落雷等の災害により生じたと認められる故障等                           | (5) お客様をご記入されました個人情報、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がありますのをご了承ください。 |
| (ニ) 使用損耗や経年変化により発生する現象                                       | (6) 保証書を紛失された場合の再発行はいたしかねますのでご注意ください。                                       |
| (ホ) ご購入の販売店や弊社指定のサービス店以外で修理されて故障した場合                         | (7) 本機の保証は日本国内で使用される場合に限りです。  |
| (ヘ) その他上記に準ずるもの  |   |

【 This warranty is valid only in Japan. 】

**静岡製機株式会社**



- 製品の修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買上げの販売店もしくは最寄りの弊社営業所にお申し付けください。

**静岡製機株式会社** URL : <https://www.shizuoka-seiki.co.jp/>

北海道営業所	〒007-0804	札幌市東区東苗穂4条3丁目4番12号	関西営業所	〒661-0032	兵庫県尼崎市武庫之荘東2丁目10番8号
		TEL (011) 782-5294 (代)			TEL (06) 6432-7880 (代)
		FAX (011) 782-8258			FAX (06) 6432-7487
東北営業所	〒989-6136	宮城県大崎市古川穂波3丁目1番14号	九州営業所	〒835-0004	福岡県みやま市瀬高町山門1841-1
		TEL (0229) 23-7219 (代)	駐在		TEL (0944) 88-9136
		FAX (0229) 21-1464			FAX (06) 6432-7487
関東営業所	〒175-0094	東京都板橋区成増1丁目17番2号	産機営業部	〒437-1121	静岡県袋井市諸井1300
		TEL (03) 6904-3786 (代)	産機企画課		TEL (0538) 23-2825
		FAX (03) 6904-0302			FAX (0538) 23-2890
中部営業所	〒437-1121	静岡県袋井市諸井1300			
		TEL (0538) 23-1605 (代)			
		FAX (0538) 23-1608			



インキはベジタブルインキを使用しています。弊社では、地球にやさしい印刷物を常に考えています。